

奈良県初のロードサイド店舗が誕生！

地域の方々が行き交い、ひと時を過ごせる大きな「軒下」のある店

「JINS^{かしはらときわ} 檜原常盤店」11月24日（木）オープン

株式会社ジンス（東京本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：田中仁、以下 JINS）は、奈良県檜原市に県内初となるロードサイド店舗「JINS 檜原常盤（かしはらときわ）店」を2022年11月24日（木）にオープンします。県内では5店舗目、市内では2店舗目の出店となります。



3店舗が隣接する敷地だからこそ作り上げた、すべての方のために開かれた軒下

奈良県中部に位置し、奈良市に次ぐ県内第2位の人口を抱える檜原市。JINSは、2008年にイオンモール檜原店をオープンし好評を得てきました。お客様それぞれの生活実態に寄り添い、購入場所や購入体験の選択肢をご提供できるよう、この度奈良県の中和地域を東西に結ぶ「中和幹線」沿いに新たなロードサイド店舗をオープンします。

今回出店する敷地には、JINSとコーヒーショップ、フィットネスジムの3店舗が駐車場を共有しながら隣接。コーヒーを購入するお客様、フィットネスジムに通うお客様、散歩中の近隣の方など、敷地内で地域の沢山の方々が行き交うことが予想されます。そこでJINSは、自店に来店された方だけでなく、この敷地に訪れたすべての方のために開かれた空間を提供することで地域との繋がりを生み出したいという思いから店舗作りを行いました。

具体的には、店舗の屋根をせり出させて大きな「軒下」をつくり、軒下をぐるりと囲うようにベンチを設置。敷地に訪れた方々が軒下で行き交い、ベンチに腰かけてコーヒーを飲んだり、待ち時間を過ごしたり。店舗の延長でありながら、まるでにぎわいのある街角のような、思い思いにひと時を過ごしていただける空間を提供します。

商品棚や椅子には、奈良県の吉野杉や吉野檜^{ひのき}をふんだんに使用し地産地消を実現

店舗の内装には地域の資源を積極的に活用。奈良県の吉野林業地帯で育まれた良質な木材、吉野杉と吉野檜を使用して商品棚や待合スペースの椅子を制作しました。地域の風土を尊重し、地産地消を実現しながら、訪れたお客様にとって木の温もりが感じられ、くつろぐことのできる空間を提供します。JINSは、これからも地域と共生する店舗作りを行い、地域のお客様に愛されるアイウエアブランドを目指していきます。

店舗概要

- 【店舗名】 JINS 檜原常盤店
- 【オープン日】 2022年11月24日（木）
- 【営業時間】 11:00-20:00
- 【所在地】 〒634-0003 奈良県檜原市常盤町 548-1
- 【電話番号】 0744-33-9507
- 【展開本数】 約1,000本
- 【店舗面積】 50.31坪

店内紹介



木の温もりが感じられ、くつろぐことのできる店内



吉野杉を使用した商品棚



吉野檜を使用した商品棚



吉野檜の角材を集積させた待合スペースの椅子

JINS 紹介

2001年より展開するアイウェアブランド「JINS」。全国に467店舗（※2022年10月末時点）を展開。薄型非球面レンズ代込み5,900円よりメガネを販売し、店頭には定番からトレンドの商品まで常時約1,200種をラインアップ。業界に先駆けて発売した軽量メガネ「Airframe」やブルーライトカットメガネ「JINS SCREEN」はメガネの概念を覆し新市場を開拓。オンライン試着や似合い度判定、OMOによる新たな購買体験の開発など、常に新しいイノベーションを創造し続けています。